

むらやま学級 生活単元学習指導案

指導者 依田千恵子

1 単元名 わくわく ルンルン お買い物

2 単元について

本単元は、特別支援学校小学部学習指導要領「生活」の目標「日常生活の基本的な習慣を身に付け、集団生活への参加に必要な態度や技能を養うとともに自分と身近な社会や自然との関わりについて関心を深め、自立的な生活をするための基礎的能力と態度を育てる。」から、その内容の3段階(9)「簡単な買い物をして金銭の取り扱いに慣れる。」(4)「身近な人と自分との関わりが分かり、簡単な応対などをする。」(11)「家庭や社会の様子に興味や関心を深め、その働きを知る。」を受けて構成されたものである。

本単元で扱う「買い物」は、お金を商店に支払うことによって、欲しい品物を手に入れる行為である。そこで、お金の認識・価値・単位・数え方が必要になり、これらができて初めて自立した買い物ができることになる。またほとんどの場合、お店の人との言葉のやり取りが必要となり、多くの品物の中から自分の欲しいものを選ぶという意志決定の力も要求される。さらに、品物のおおよその価値や値段もある程度知っていなければならず、自分の所持しているお金をどのように使うかという計画性や計算力などの金銭感覚の能力も必要とされる。

児童は、お店に行きお金を払って品物を手に入れることは知っている。しかし、たいいていは家の人などと一緒に買い物をすることが多く、お金の価値やその仕組みについては十分に理解できていない。

そこで、教科・領域を合わせた生活単元学習の形態で、興味・関心に根ざした主体的な活動を展開していけば金銭の取り扱いに慣れ、お金の価値や意味も次第に分かり、社会への適応の大きな自信になると考え、本単元を設定した。

また、買い物を通した活動の中で言語活動を充実させながら、あいさつや受け答えなどコミュニケーションの仕方やはっきりとした話し方、場に応じた言葉づかいなどを学ばせたい。

〈金銭教育に関わって〉

本単元は、金融教育の「生活設計・家計管理に関する分野」で、目標の「資金管理と意志決定」と関係している。金銭教育を推進するに当たっては、主に「もの」とのつながりの大切さを学ばせることによってお金の価値を理解させ、ものやお金を大切にす態度の育成につなげたい。

生活をしていく中で、必要になってくるのが自立的な生活をするための基礎能力と人との関わりである。本校の金銭教育の視点である「ひと・もの・こと」を通して買い物をみると、売り手と買い手の両方を経験しながら、「ひと」とのコミュニケーションの仕方を学ぶことができる。あいさつの仕方や金額のやり取りを通しての受け答え、ていねいな言葉づかいなどを通して社会生活に必要なルールも身に付けてほしいと考える。「もの」である商品の売り買いを通して、お金には種類があることや買い物をしたら代金を払うこと、

目的に合う買い物ができること、お金を大切にすることなどを指導し、社会生活や自立に必要な知識や技能を身に付けさせていきたい。また、児童の一番身近にあるコンビニエンスストアを模することで「こと」である働くことへの関心にもつなげていきたい。

〈児童の実態〉

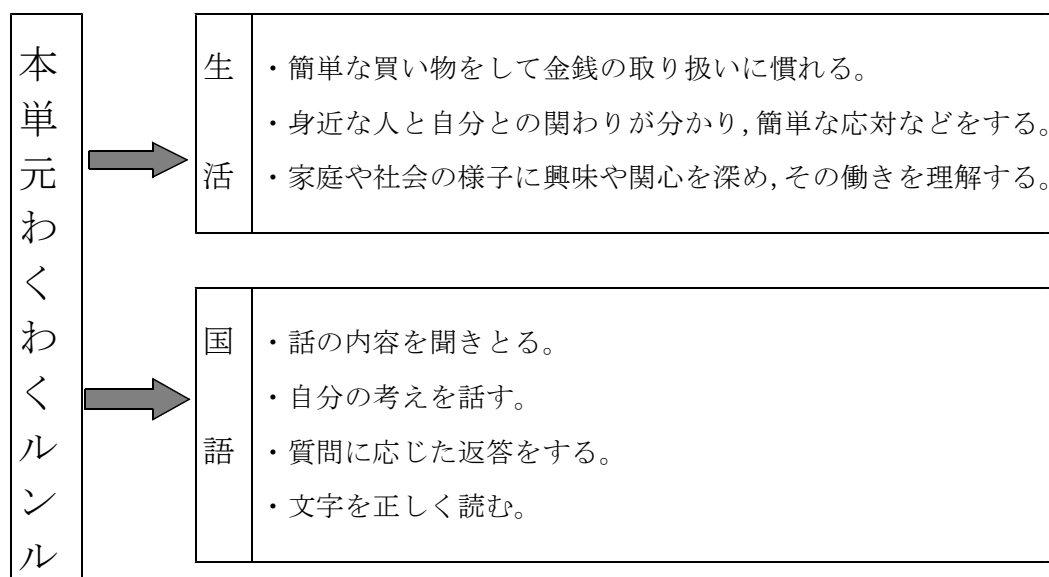
知的障害児学級であるむらやま学級には、5年生の女兒Aさんと2年生の男児Bさんの二人が在籍している。2人は、性別や学年が違っても仲が良く、2人での学習を楽しみにしている。休み時間などに2人で遊ぶ姿も時々見られる。しかし、自分がやりたいことと違うことを相手がしたり言ったりするとトラブルになってしまったりする場面も多く見られる。

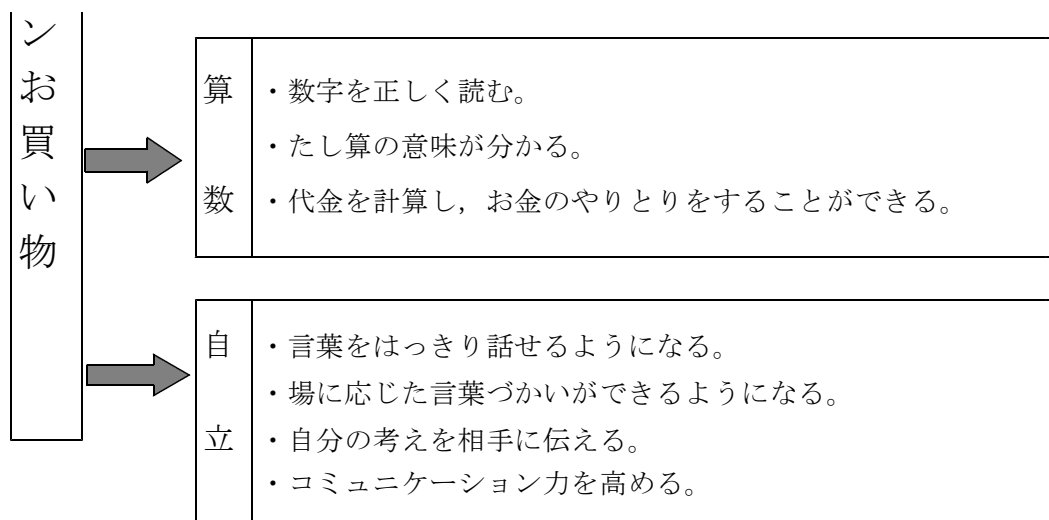
買い物の経験については、Aさんは放課後に通っている障害者支援施設で時々お散歩の途中でおやつを購入する経験を積んでいる。Bさんは、お家の方の買い物にはよくついて行っておもちゃやお菓子を買ってもらっている。しかし、二人ともお金の知識やお金のもつ意味、またお金の大切さについてはまだまだ理解も不十分で身についているとは言えない。100円の価値がどのくらいであるという感覚や2つ以上の買い物をすると支払う金額が増えていくことの意味も必要である。

学習を積み重ね、実生活と結びつけながら知識の獲得を図り、大人になったときに自分で金銭を管理し、決められた範囲で計画的に商品を選ぶことができるようにしていく基礎を築いていきたい。

3 単元の目標

- 買い物に関心を持ち、買い物の楽しさを味わいながら、活動に意欲的に取り組むことができる。【関心・意欲・態度】
- 必要な品物を選んだり、自分の欲しいものを選ぶことができる。【思考・判断】
- 「売り手」「買い手」の立場を理解して、人と応対することができる。【技能・表現】
- 金銭の見分け方や数え方を理解し、簡単な買い物ができる。【知識・理解】





4単元の指導計画 (全20時間)

時	小単元名	学習内容	評価規準
1 2 3	電車やバスに乗ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・切符の買い方・バスの代金の払い方を学習する ・模擬券売機で切符を買う練習をする。 ・さまざまな模擬硬貨の組み合わせを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お金の種類や数え方が分かる。 ・切符の買い方やバスでのお金の払い方や公共機関でのマナーが分かる。
4 5 6 7 8	御勅使公園へ行こう	<ul style="list-style-type: none"> ・バスや電車に乗って御勅使公園へ行く。 ・コンビニエンスストアでおやつを買う。 ・交流会を楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・電車やバスに乗って公園に行くことができる。 ・自分の欲しいおやつをコンビニエンスストアで買うことができる。 ・交流会を楽しむことができる。
9 10 11 12 13 14 (本時) 15 16	買い物ごっこをしよう 【本時】 6 / 8	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物ごっこの計画を立てる。 ・模擬店を作る ・買い物ごっこをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・お店の様子や買い物ごっこに必要な物を話し合うことができる。 ・ごっこ遊びに関心を持ち、進んで品物を集めたり作ったりすることができる。 ・買い物のしかたを身に付けることができる。

17	買い物に行こう	<ul style="list-style-type: none"> ・おたのしみ会に必要な材料を買い物に行く。 ・買い物に行ったことを絵や文にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要なものを予算内で買うことができる。 ・学習したことをもとに、あいさつをしたり金額を払ったりすることができる。
18			
19			
20			

5. 本時の学習

(1) 日時 平成26年11月13日(木) 5校時 (13:00～13:45)

(2) 場所 むらやま1教室・会議室

(3) 本時のねらい

- ・買い物の学習に楽しく取り組み、金銭のやり取りができる。
- ・相手に合わせて適切な受け答えができる。

(4) 展開

過程	学習活動・内容	主な教師の支援・留意点 金 は金銭教育の視点	評価
導入 10分	<p>1 あいさつをして授業への集中と気持の切り替えをする。</p> <p>2 本時の学習内容を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容や進め方について確認をする。 ・がんばりカードに日付を記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・姿勢に気をつけて、口をしっかりと開けて、あいさつするように声掛けをする。 ・口の動きに気をつけるよう、一緒にあいさつをする。 ・前時までの活動を思い出させ、活動への意欲をもたせる。 ・本時の学習の進め方を黒板に提示し、見通しをもたせる。 ・今日の日をちを確認し、筆順に気をつけて書くようにさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動に取り組もうとする意欲が見られる。
展開 25分	<p>3 買い物のしかたを想起する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物の手順を確認する。 「こんにちは。」 「これください。」 「ありがとう。」 <p>の練習をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金の確認をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物のしかたの絵カードを提示し、買い物の手順を確認できるようにする。 ・売っている品物を見たり、あいさつの言葉を言ってみたりして、活動の意欲づけをする。 ・正しくお金を払うことと、あいさつの言葉をはっきり言うことに気をつけるように声掛けをする。 金 硬貨を1つずつ手に取らせながら確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・買い物の大体の手順が分かる。

	<p>4 買い物ごっこをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 先生がお店の人，児童がお客になって買い物をする。 児童が店員役になり，外部人材にお客になってもらって買い物をしてもらう。 	<ul style="list-style-type: none"> 買い物の手順を思い出しながら，楽しく買い物ができるようにする。 2つ以上の組み合わせを考え，自分の持っているお金の中で欲しい物と購入できる物を考えることができる。 金500円の中で自分が欲しい物を選び買い物をすることができる。 「いらっしゃいませ」「〇〇円になります。」「ありがとうございました。」のあいさつが相手に伝わるようはっきり言えるように声掛けをする。 お客さんに聞かれたことをしっかり聞きとり，はっきり答えられるよう支援する。 レジ係は客ごとに交代する。 金商品名や商品ごとの金額，合計の金額をお客役にしっかり伝えることができる。 金おつりをしっかり数えて渡すようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分の欲しい品物を選び，値段に見合うお金を支払うことができる。 買い物をするときや売るときに必要な言葉を進んで言うことができる。 お店屋さんやお客さんの役割を楽しみながら買い物をすることができる。
<p>まとめ 10分</p>	<p>5 学習のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> がんばりカードにシールを貼る。 買い物ごっこの感想を発表する。 <p>6 終わりのあいさつをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 本時の学習を振り返り，がんばったことを大いに認め，買い物への意欲を持続させるとともに次時への意欲をもたせる。 感想を言葉で表現できるよう支援し，発表させていきたい。 姿勢に気をつけて，口を大きく開けてあいさつするように声掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽しく買い物ごっこをすることにより，買い物への興味関心をもつことができる。

(5) 本時の評価

- 楽しく買い物をしている。
- 「売り手」や「買い手」になってのあいさつや受け答えをしている。
- 金額を読んだり，貨幣を数えたりすることに意欲的に取り組んでいる。

「わくわく ルンルン おかいもの」

がんばりカード

なまえ

ひにち

がつ

にち

よう日

きょうのべんきょう

がんばったかな

①あいさつ

よくがんばった

がんばった

つぎがんばる

②かいもののしかた

よくがんばった

がんばった

つぎがんばる

③かいもの

よくがんばった

がんばった

つぎがんばる

④おみせのことば

よくがんばった

がんばった

つぎがんばる

⑤お金のかぞえかた

よくがんばった

がんばった

つぎがんばる

先生から

よくがんばった

がんばった

つぎがんばる